

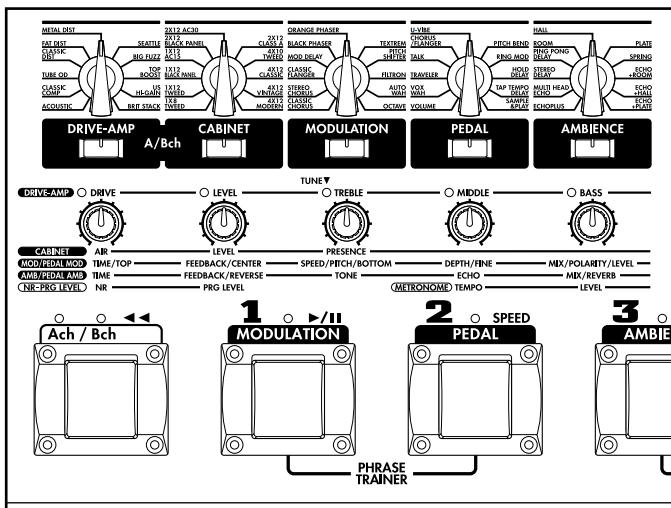
TONEWORKS

AX1500G

MODELING SIGNAL PROCESSOR

REMS

取扱説明書



目次

1.はじめに	3
主な特長	3
本誌を読む上での注意	3
これだけはおぼえよう	4
各部の名称とはたらき	4
AX1500Gの各モード	7
AX1500Gのエフェクト・チャンネル	7
2.演奏してみましょう	8
接続例	8
プレイ・モード	8
マスター・レベルの調整	8
プログラムの選択	8
エフェクト・チャンネルの切り替え	9
バイパス、ミュート	9
オート・チューナ	9
メロノーム	9
エクスペッション・ペダル	10
インディビジュアル・モード	10
フレーズ・トレーナー・モード	11
3.エディット	12
エフェクトのエディット	12
ノイズリダクションと	
プログラム・レベルの設定	13
プログラム名の変更	13
プログラムのライト	13
4.資料	14
エクスペッション・ペダルの調整	14
ユーザー・プログラムを	
工場出荷時の状態に戻すには	14
故障かな?と思ったら	15
主な仕様	15
エフェクト・パラメータ	16
ドライブ・アンプ・エフェクト・ブロック	16
キャビネット・エフェクト・ブロック	17
モジュレーション・エフェクト・ブロック	18
ペダル・エフェクト・ブロック	20
アンビエンス・エフェクト・ブロック	22
プリセット・プログラム・リスト	23

KORG




安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには





図記号の例










	△記号は、注意(危険、警告を含む)を示しています。記号の中には、具体的は注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘記号は、禁止(してはいけないこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。
	●記号は、強制(必ず行うこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を守ってください

警告











この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が予想されます

-  ACアダプターのプラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。
- ACアダプターのプラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。
- 本製品はコンセントの近くに設置し、ACアダプターのプラグへ容易に手が届くようにする。
-  次のような場合には、直ちに電源を切ってACアダプターのプラグをコンセントから抜く。
ACアダプターが破損したとき
異物が内部に入ったとき
製品に異常や故障が生じたとき
修理が必要なときは、お買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへ修理を依頼してください。
-  本製品を分解したり改造したりしない。
-  修理/部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは絶対にしない。
- ACアダプターのコードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、ACアダプターのコードの上に重いものを乗せない。
コードが破損し、感電や火災の原因になります。

-  大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。
万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
-  本製品に異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)を入れない。
-  温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など)で使用や保管はしない。
-  振動やホコリの多い場所で使用や保管はしない。
-  風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。
-  雨天時の野外などのような湿気の多い場所で、使用や保管はしない。
-  本製品の上に液体の入ったもの(水や薬品等)を置かない。
-  本製品に液体をこぼさない。
-  濡れた手で本製品を使用しない。

注意

この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または、物理的損害が発生する可能性があります

-  正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
-  ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。
ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
-  外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
-  ACアダプターをコンセントから抜き差しするときは、必ずプラグを持つ。
-  長時間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜く。
-  他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしていない。
本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。
-  スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。
故障の原因になります。
-  外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーは使用しない。
-  不安定な場所に置かない。
本製品が転倒してお客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。
-  本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。
本製品が損傷したり、お客様がけがをする原因となります。

1.はじめに

このたびはトーンワークス・モデリング・シグナル・プロセッサ―AX1500Gをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

AX1500Gを未永くご愛用いただくためにも、取扱説明書をよくお読みになって正しい方法でご使用ください。また、取扱説明書は大切に保存してください。



主な特長

- コルグのモデリング・テクノロジー“**REMS**”による緻密で迫力のあるモデリング・サウンドが手軽に使用できます。
- 56種類のモデリング・エフェクト・バリエーションを内蔵し、最大8種類のエフェクトを同時に使用できます。
- 48(3×16バンク)プリセット・プログラムと、書きかえができる48(3×16バンク)ユーザー・プログラムを内蔵しています。
- プログラムを切り替えずに、ドライブ・アンプ・エフェクトとキャビネット・エフェクトの組み合わせをメモリーしたエフェクト・チャンネル(A、B)を切り替えることができます。
- 5つのエフェクト・ブロック(ドライブ・アンプ、キャビネット、モジュレーション、ペダル、アンピエンス)のエフェクトを、各ブロックのエフェクト・モデル選択ツマミで瞬時に切り替えることができます。
- エクスプレッション・ペダルで、11種類のペダル・エフェクトをリアルタイムにコントロールすることができます。
- フット・スイッチを使ってエフェクトを個々にオン、オフできるインディビジュアル・モードがあります。
- 自分で弾いたフレーズを録音(最大8秒間)し、ペダル操作により再生させるサンプル&プレイ機能を内蔵しています。
- オーディオ機器の音やギターの演奏を録音(最大16秒間)し、ピッチを変えずに再生スピードを遅くできるフレーズ・トレーナー機能を内蔵しています。
- 練習に便利なメトロノームを内蔵しています。
- AUX IN端子を装備しているので、接続したオーディオ機器に合わせて演奏することができます。
- バイパス、ミュート時にオート・クロマチック・チューナーでチューニングができます。
- LCD(液晶ディスプレイ)を用いた、わかりやすいインターフェースを採用しています。
- LCDバックライトを採用、暗い所でも表示を見ることができます。

REMSとは?

REMS(Resonant structure and Electronic circuit Modeling System)は、生楽器や電気/電子楽器の発音メカニズム、発音された音がボディー/キャビネットで共鳴するメカニズム、その音が出ているフィールドの空気感、音の伝達経路としてマイク、スピーカーなどの電気/音響的特性、真空管、トランジスタなどの電気回路による音の変化など、音色に関わる様々な要因を緻密にデジタルで再現したコルグ独自のモデリングテクノロジーです。

本誌を読む上での注意

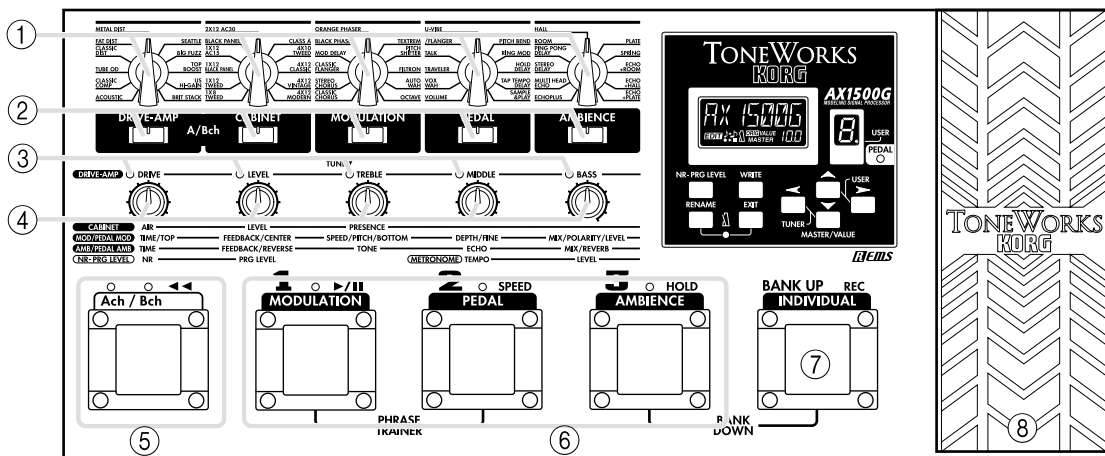
 は操作上の注意、 はアドバイス等を示します。

LCDの表記は動作例を示したもので、実際の表示と必ずしも一致してない場合があります。

これだけはおぼえよう

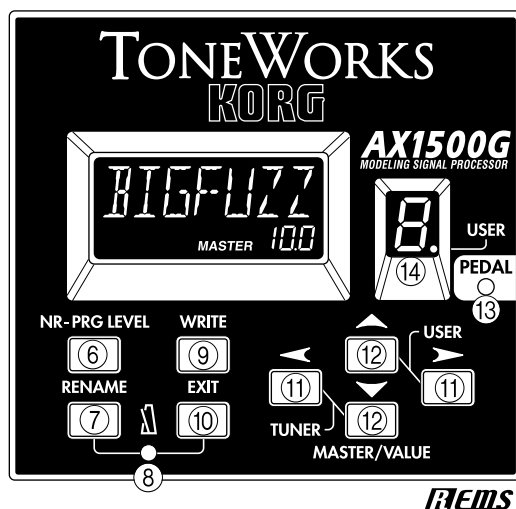
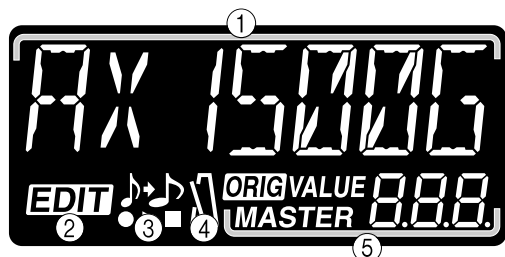
各部の名称とはたらき

フロント・パネル



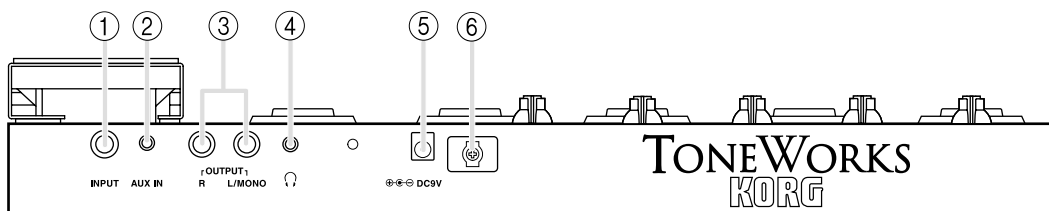
- ① エフェクト・モデル選択ツマミ
各エフェクト・ブロックで使用するエフェクト・モデルを選択します。
- ② エフェクト・ブロック・スイッチ
(DRIVE-AMP、CABINET、MODULATION、PEDAL、AMBIENCE)
各エフェクト・ブロックをオン、オフにしたりエディットするときを押します。このときスイッチのLEDは点灯(オン)、消灯(オフ)、点滅(エディット)します。
- ③ バリュース・LED
選択されたエフェクト・モデルで使用できるバリュー・ツマミに合わせて点灯します。左からバリュー・ツマミ1~5に対応しています。
- ④ バリュー・ツマミ
エディット時に、エフェクトごとに割り当てられたパラメータの値を変更します。左からバリュー・ツマミ1~5です。
エディット以外のはきは、選んだプログラムで使われているドライブ・アンプ・エフェクトのパラメータが割り当てられています(P.12「ドライブ・アンプ・エフェクト・ブロックのクイック・エディット」参照)。
- ⑤ エフェクト・チャンネル・スイッチ、チャンネルLED
現在選ばれているプログラムのエフェクト・チャンネルを切り替えます。それにあわせてスイッチの上のチャンネルLED(Aチャンネルは緑、Bチャンネルは赤)が点灯します。
- ⑥ プログラム・スイッチ、プログラムLED
プログラムを選択します。それにあわせてスイッチの上のプログラムLED(1、2、3)が点灯します。インディビジュアル・モードのときは各エフェクトを個別にオン、オフします。
- ⑦ バンク・スイッチ
押すたびにバンク・ナンバーが1つ上がります。バンク・スイッチとプログラム・スイッチ3を同時に押すと、バンク・ナンバーが1つ下がります。
- ⑧ エクスプレッション・ペダル
ペダル・エフェクト・ブロックで選んだエフェクトをコントロールします。


LCD、コントロール・パネル

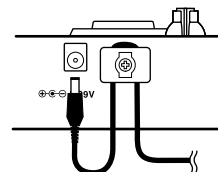


- ① ネーム・ディスプレイ
各動作時に、プログラム名/エフェクト名/パラメータ名等を表示します。
- ② エディット・アイコン
エディットしたプログラムがライトされていないときに点灯します。また、プログラムのエディット中は点滅します。
- ③ フレーズ・トレーナー・アイコン
フレーズ・トレーナー・モードに入ったときに点滅します。
- ④ メトロノーム・アイコン
メトロノームがオンのときに点灯します。また、メトロノームのテンポやレベルの設定中は点滅します。
- ⑤ MASTER/VALUEディスプレイ
マスター・レベルやパラメータの値を表示します。また、パラメータの値がプログラムにライトされている値と一致したときにはORIG(オリジナル・アイコン)が点灯します。
- ⑥ NR-PRG LEVELスイッチ
ノイズリダクションのかかり具合と、プログラムのレベルを設定するときに使います。
- ⑦ RENAMEスイッチ
プログラムの名前を変更するときに使います。
- ⑧ メトロノームLED
メトロノームのテンポにあわせて点滅します。
- ⑨ WRITEスイッチ
エディットしたプログラムを保存するときに使います。
- ⑩ EXITスイッチ
プレイ・モードに戻るときに使います。
- ⑪ カーソル・スイッチ(、)
エディットするパラメータの選択や、プログラム名の変更等に使います。
- ⑫ MASTER/VALUEスイッチ(、)
マスター・レベルやパラメータの値を変更するときに使います。
- ⑬ ペダルLED
ペダル・エフェクトのオン、オフや種類の表示、サンプル&プレイ機能にしたときの録音状態などを表示します。
- ⑭ バンク・ナンバー・ディスプレイ
選んでいるプログラムのバンクを表示します。ユーザー・プログラムのときは、バンク・ナンバー右下の"."が点灯します。

リア・パネル



- ① INPUT端子
ギターを接続します。
- ② AUX IN端子(ステレオ・ミニ)
使用するオーディオ機器の出力(AUX OUT: アナログ)を接続します。
- ③ OUTPUT端子(L/MONO、R)
ギター・アンプやミキサー等と接続します。モノラルで接続する場合は、L/MONOに接続してください。
- ④ : ヘッドホン端子(ステレオ・ミニ)
ヘッドホンを接続します。
- ⑤ DC9V
付属のACアダプターを接続します。
接続すると電源が自動的にオンになります。
- ⑥ コードフック
ACアダプターのコードを引っかけておきます。コードをフックから外すときは、コードを無理に引っ張らないでください。




AX1500Gの各モード

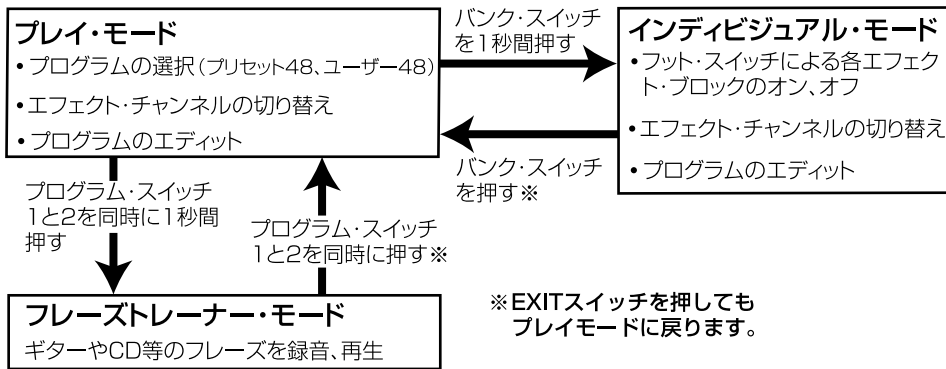
AX1500Gには、大きく分けてプレイ・モード、インディビジュアル・モード、フレーズ・トレーナー・モードの3つのモードがあります。

プレイ・モードは、プログラムを切り替えて通常の演奏をするモードです。電源をオンにした直後は、必ずこのモードになります。高品位のエフェクト・モデルを使ったプリセット・プログラムが48、ユーザーが自由にエディットして好みのサウンドをつくる、ユーザー・プログラムが48の合計96プログラムの中から選びます。また、それぞれのプログラムはエフェクト・チャンネルA、Bを切り替えることができます。なお、工場出荷時のユーザー・プログラムには、プリセット・プログラムと同じプログラムが入っています。

インディビジュアル・モードは、フット・スイッチ(プログラム・スイッチとエクスプレッション・ペダルのスイッチ)によって各エフェクト・ブロックを個別にオン、オフして演奏するためのモードです。このモードではエフェクト・チャンネルA、Bを切り替えることができますが、プログラムの切り替えはできません。プログラムの切り替えはプレイ・モードで行います。

フレーズ・トレーナー・モードは、AUX IN端子に接続されたオーディオ機器(CDやMD等)や、INPUT端子に接続されたギターからフレーズを録音してループ(繰り返し)再生します。それに合わせて、繰り返し練習をすることができます。また、ピッチ(音の高さ)を変えずに再生スピードを落とすことができるので、聞き取りにくいフレーズのコピーや練習に役立ちます。

 フレーズ・トレーナー・モードに入るとモジュレーション、ペダル、アンビエンスの各エフェクト・ブロックが自動的にオフになります。また、このモードではエフェクト・チャンネルの切り替えはできません。

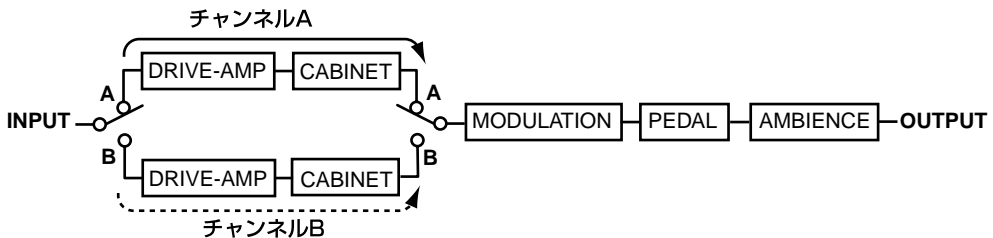


プレイ・モード、インディビジュアル・モードでは、エフェクト・モデル選択ツマミ等によってエフェクトのエディット、ノイズリダクションとプログラム・レベルの設定、プログラム名の変更などの操作を行うことができます。

AX1500Gのエフェクト・チャンネル

AX1500Gはエフェクト・チャンネル・スイッチを使って、プログラムごとにA、Bの2つのエフェクト・チャンネルを切り替えることができます。

各チャンネルは、ドライブ・アンプ・エフェクトとキャビネット・エフェクトから構成されます(下図参照)。



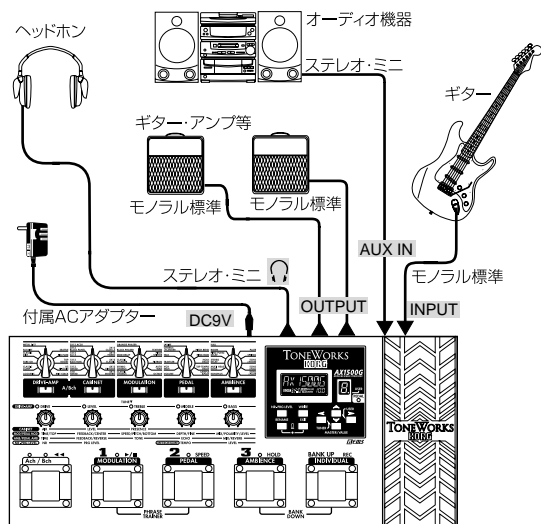
これにより、1つのプログラムでギター・アンプのチャンネルを切り替えるように、バックングやソロといった使い分けや、キャビネット・エフェクトを使ったミキサーへのダイレクト出力や、ギター・アンプ出力との使い分けができます。

2.演奏してみましょう

接続例

▲ 各接続は必ず電源オフの状態で行ってください。不注意な操作を行うと、スピーカー・システム等を破損したり、誤動作を起こす原因となりますので十分に注意してください。

1. ケーブルをAX1500GのOUTPUT端子に接続し、ギター・アンプやミキサー等と接続します。モノラルで接続する場合は、L/MONO側に接続してください。AX1500Gの音質を活かすためにも、ステレオ接続をおすすめします。
2. ヘッドホンを使う場合は、ヘッドフォン端子にヘッドホンのプラグをさし込んでください。
- ▲** ヘッドホンをしていても、OUTPUT端子からの出力はカットされません。
3. INPUT端子にギターを接続します。
4. AUX INを使用するときは、外部オーディオ機器を接続します。音量は接続した機器で調整してください。
5. 付属のACアダプターをDC9Vの端子に接続し、ACアダプター本体をコンセントにさします。接続すると、電源が自動的にオンになり、ネーム・ディスプレイにプログラム名が表示されます。
- ▲** ACアダプターのコードは、コード・フックに引っ掛けてください。コードをフックから外すときは、無理に引っ張らないでください。
6. 接続が終わったら、ギター・アンプやミキサー等の電源を入れます。ギター等を弾いて音を出し、正しく接続されているかどうかを確認します。AX1500Gのマスター・レベルやギター・アンプ、ミキサー側のゲインやフェーダー等で、適度な音量に調整してください。



プレイ・モード

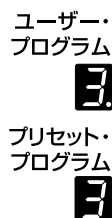
電源をオンにしたときは、必ずプレイ・モードになり、前回オフにしたときのプログラム、マスター・レベルの設定になっています。

マスター・レベルの調整

電源をオンにした直後やプログラムを選択した直後、またEXITスイッチを押した後などは、MASTER/VALUEディスプレイにマスター・レベルが表示されます。このとき、MASTER/VALUEスイッチ()でマスター・レベルを調整することができます。

プログラムの選択

プログラムは48個のプリセット・プログラムと、48個のユーザー・プログラムから選ぶことができます。ユーザー、プリセットそれぞれに16個のバンクがあり、1バンクにつき3個のプログラムがあります。現在のバンクはバンク・ナンバー・ディスプレイで、プログラムはプログラムLEDで確認できます。ユーザーとプリセットのプログラムの切り替えは、MASTER/VALUEスイッチ()とカーソル・スイッチ()を同時に押します。ユーザー・プログラムを選択したときは、バンク・ナンバー・ディスプレイの右下の“.”が点灯します。



同じバンク内のプログラムを選択する場合
プログラム・スイッチ1~3を押して選択します。
選択したプログラムのプログラムLEDが点灯し、ネーム・ディスプレイにプログラム名が表示されます。

別のバンクのプログラムを選択する場合
バンク・スイッチを押してバンクを選択します(バンク・ナンバー・ディスプレイが点滅)。0、1、2...9、A、b、C、d、E、F、0、1、2...の順になります。

- バンク・スイッチを押すたびにバンク・ナンバー・ディスプレイの表示が1つ上がります。
- バンク・スイッチとプログラム・スイッチ3を同時に押すと、表示が1つ下がります。

目的のバンク・ナンバーが表示されたら、プログラム・スイッチ1~3を押して選択します。バンク・ナンバー・ディスプレイの点滅が点灯になります。

プログラムで使用しているエフェクト・ブロックの確認

プログラムによって、すべてのエフェクト・ブロックが使われてないものがあります。プログラムを選ぶと、使用しているエフェクト・ブロック・スイッチのLEDが点灯します。使われてないエフェクト・ブロック・スイッチのLEDは消灯します。

エフェクト・チャンネルの切り替え

エフェクト・チャンネル・スイッチを押すたびに、エフェクト・チャンネルA、Bが切り替わります。チャンネルLEDが緑で点灯しているときはA、赤で点灯しているときはBが選択されています。

エフェクト・チャンネルのホールド

プログラムを切り替えたときに、プログラムにメモリーされているチャンネルに切り替える(OFF)か、切り替える前のチャンネルを保持する(On)かを選びます。工場出荷時はOFFに設定されています。

- EXITスイッチを押したまま、エフェクト・チャンネル・スイッチを押すと、ネーム・ディスプレイに“ CH HOLD ”、MASTER/VALUEディスプレイに“ OFF ” (または“ On ”)が表示されます。
- EXITスイッチを押したまま、エフェクト・チャンネル・スイッチを押すたびにOn、OFFが切り替わります。
- 押し続けているEXITスイッチを離すとプレイ・モードに戻ります。

バイパス、ミュート

バイパス

現在選択されているプログラムの、プログラム・スイッチを0.5秒間押し続けると、全てのエフェクトがバイパスされます。このとき、プログラムLEDが点滅し、ネーム・ディスプレイに1秒間“ BYPASS ”と表示されます。バイパスを解除するときは、点滅しているLEDのプログラム・スイッチか、他のプログラム・スイッチを押します。

Tips MASTER/VALUEスイッチ()とカーソル・スイッチ()を同時に押すことでオン、オフにできます。また、EXITスイッチでもオフにできます。

ミュート

現在選択されているプログラムの、プログラム・スイッチを1.5秒間押し続けると、INPUTの入力音(ギター等)がミュートされます。このとき、プログラムLEDの点滅が速くなり、ネーム・ディスプレイに1秒間“ MUTE ”と表示されます。

ミュートを解除するときは、点滅しているLEDのプログラム・スイッチか、他のプログラム・スイッチを押します。

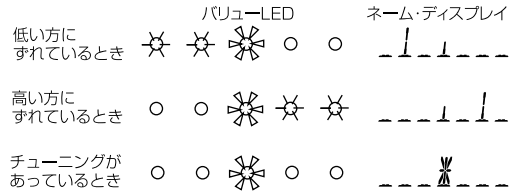
Tips MASTER/VALUEスイッチ()とカーソル・スイッチ()を同時に1秒押すことでオン、再び同時に押してオフにできます。また、EXITスイッチでもオフにできます。

オート・チューナー

バイパスまたはミュートにすると、自動的にチューナーが動作します。ミュートにしておくと、接続機器から音を出さずにチューニングができるので、ステージ等ではミュートにすることをお勧めします。

- チューニングしたい音名が、バンク・ナンバー・ディスプレイに表示されるようにギターをおおまかに調整します。バンク・ナンバー・ディスプレイの右下の“. ”が点灯したときは“ # ”を表します。
表示例
A = A
d. = D#
- 5つのバリューLEDの中央だけが点灯(または、ネーム・ディスプレイの中央のみ表示)するようにギターを微調整します。

バリューLEDとネーム・ディスプレイによるチューニングずれ表示



キャリブレーションの変更

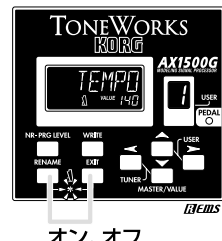
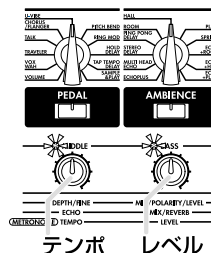
必要に応じて、キャリブレーション(基準ピッチAの周波数)を438 ~ 445Hzの範囲で変更します。

チューナーが動作しているときに、MASTER/VALUEスイッチ()を押して変更します。キャリブレーションの表示は、MASTER/VALUEディスプレイに表示されます。

▲ 変更したキャリブレーションは、電源をオフにすると無効となり、ふたたび電源をオンにすると、自動的に440Hzになります。

メトロノーム

- RENAMEとEXITスイッチを同時に押すと、メトロノームがスタートします。(メトロノーム・アイコンが点滅)。
- バリュー・ツマミ4でテンポ(範囲40 ~ 208: MASTER/VALUEディスプレイに表示)を調整します。このとき、メトロノームLEDがテンポに合わせて点滅します。
- バリュー・ツマミ5でメトロノーム音のレベル(範囲0 ~ 10: MASTER/VALUEディスプレイに表示)を調整します。
- メトロノームの動作中にRENAMEとEXITスイッチを同時に押すと、メトロノームが停止します。



2.演奏してみましょう

メトロノーム動作中に、プログラムの切り替えやエディット等を行うと、テンポやレベルは調整できなくなります。テンポやレベルを再調整する場合は、一度メトロノームを停止してから、再度スタートさせてください。

Tips バリュースツマミ4、5の代わりにカーソルスイッチ()を押して、パラメータを切り替えたり、MASTER/VALUEスイッチ()でパラメータの値を調整することもできます。

Tips メトロノーム動作中にEXITスイッチを押すと、メトロノームが停止しプレイモードに戻ります。

! バイパス、ミュート中は、テンポやレベルの調整はできません。

エクスプレッション・ペダル

エクスプレッション・ペダルで、ペダル・エフェクト・ブロックの11種類のエフェクトを、リアルタイムにコントロールすることができます。

プログラムにペダル・エフェクト・ブロックのエフェクトが使われているときは、エフェクト・ブロック・スイッチのLEDが点灯します。

ペダルLEDはエフェクトがVOLUMEのときは黄色、VOX WAH ~ RING MODのモジュレーション系のときは緑色、HOLD DELAY ~ SAMPLE&PLAYのアンビエンス系のときは赤色に点灯が変わります。

なお、HOLD DELAY ~ SAMPLE&PLAYのペダル・エフェクトは他のエフェクトとは操作方法が異なります(P.21参照)。

エクスプレッション・ペダルを使った演奏

1. プレイモードでエクスプレッション・ペダルが使えるプログラムを選択します。
2. ペダルLEDが点灯していることを確認します。点灯してなければ、エクスプレッション・ペダルを1回深く踏み込んで、ペダルLEDを点灯(ペダルをオン)させてください。
3. ギターを演奏しながら、エクスプレッション・ペダルを操作します。ペダルを上下させると、それに応じて出力音が変わります。

! ペダル・エフェクト・ブロックでVOLUMEを選択したときは、エクスプレッション・ペダルのオン、オフはできません。オンのまま(ペダルLEDが黄色点灯)になります。

! エクスプレッション・ペダルのオン、オフは各プログラムには記憶されません。

! エクスプレッション・ペダルには必要以上の力を加えないようにしてください。あらかじめペダルLEDの点灯や、エフェクトのかかり具合に必要な力を確認してから、エクスプレッション・ペダルを操作してください。

インディビジュアル・モード

このモードでは、プログラム・スイッチやエクスプレッション・ペダルのスイッチを押すことで、演奏中にモジュレーション、ペダル、アンビエンスのエフェクト・ブロックのオン、オフができます。

プレイモードと同様に、エフェクト・チャンネルの切り替えやメトロノーム、エディット、プログラムのライトなどの操作を行うことができます。

! このモードでは、プログラムの切り替えとバイパス、ミュートはできません。

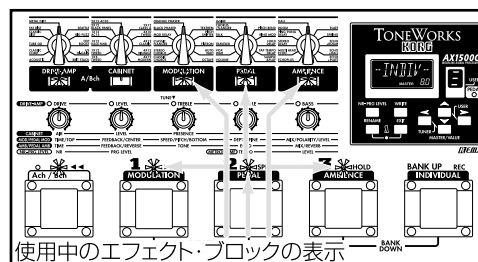
インディビジュアル・モードに入る

プレイモードで、バンク・スイッチを1秒間押し続けると、インディビジュアル・モードに入ります。ネーム・ディスプレイは「INDIV」、バンク・ナンバー・ディスプレイは「3」と表示します。

インディビジュアル・モードに入ると、プログラムLEDにエフェクト・ブロックごとのオン、オフ状態が表示されます(エフェクト・ブロック・スイッチのLEDも点灯)。それぞれ、MODULATIONがプログラム・スイッチ(LED)1、PEDALが2、AMBIENCEが3に対応しています。

プログラム・スイッチを押す度に、エフェクト・ブロックのオン、オフを繰り返します。ペダル・エフェクト・ブロックについては、エクスプレッション・ペダルを深く踏み込むことでオン、オフを切り替えることができます(ペダルの下にスイッチがあります)。ただし、SAMPLE&PLAYなどの一部のペダル・エフェクトは、エクスプレッション・ペダルの使用方法が特殊なため、一度オンにしたらオフにはできません。

! モジュレーションとペダルのエフェクト・ブロック、またはペダルとアンビエンスのエフェクト・ブロックでは、同時に使用できないエフェクトがあります。このような組み合わせの、エフェクト・ブロックの両方をオンにしようとしたときは、先にオンになっていた方が自動的にオフになります。




インディビジュアル・モードから抜ける


バンク・スイッチかEXITスイッチを押すと、プレイモードに戻ります。

フレーズ・トレーナー・モード

AUX IN端子に接続されたオーディオ機器 (CDやMD等) や、INPUT端子に接続されたギターからフレーズを録音して、ループ (繰り返し)再生します。それに合わせて、フレーズを繰り返し練習することができます。

また、ピッチ (音の高さ)を変えずに再生スピードを落とすことができるので、聞き取りにくいフレーズのコピーや、練習に役立ちます。なお、フレーズ・トレーナー・モードのときのエクスプレッション・ペダルは自動的にギターのボリューム・コントロールになります。

 このモードに入ると、モジュレーション、ペダル、アンビエンスのエフェクト・ブロックが自動的にオフになります (フレーズ・トレーナー・モードから抜けると元に戻ります)。

 このモードでは、バイパス、ミュート、プログラムやエフェクト・チャンネルの切り替え等はできません。

1. フレーズ・トレーナー・モードに入る

プレイ・モードで、プログラム・スイッチ1と2を同時に1秒間押します。

ネーム・ディスプレイに録音モードの選択状態が表示され、フレーズ・トレーナー・アイコンが点滅します。

2. 録音モードの選択

カーソル・スイッチ () で入力端子、MASTER/VALUEスイッチ () で録音時間を選択します。

入力端子 “AUX” AUX IN端子

“GTR” INPUT端子

録音時間 “SHT” 最大8秒間 (高音質)


“LNG” 最大16秒間 (長時間)

フレーズは、モノラルで録音/再生されます。

3. 録音開始

接続した機器をスタートさせ、録音を開始したいところでバンク・スイッチ (REC) を押すと録音を開始します。


ネーム・ディスプレイに “REC” と録音秒数が表示されます。


 いったんフレーズを録音してしまうと、録音モードは変更できません。録音モードを変更したいときは、プレイ・モードに戻ってから再度フレーズ・トレーナー・モードに入ってください。

4. 録音終了

録音を終了したいところで、プログラム・スイッチ1 (▶/||) またはバンク・スイッチ (REC) を押します。録音が終了して、ネーム・ディスプレイに “PLAY” と表示され、自動的にループ (繰り返し)再生を開始します。

また、選んだ録音モードの最大時間まで録音すると、自動的に録音が終了し自動的にループ (繰り返し)再生を開始します。

 接続されたオーディオ機器やギターの音量によっては、歪む場合があります。このような場合は、オーディオ機器やギター側で音量を調整してください。

 入力端子が “AUX” の場合は録音が終了するまでは INPUTの入力音がミュートされます。

録音をやり直すときは

プログラム・スイッチ1 (▶/||) を押して再生を停止します。このあと、「3.録音開始」「4.録音終了」の操作をします。

録音したフレーズを消去するには

EXITスイッチを押すと、プレイ・モードに戻りフレーズ、が消去されます。また、録音をやり直すと新しいフレーズが上書きされます。

5. 停止

再生中にプログラム・スイッチ1 (▶/||) を押すと、再生が停止します。もう一度プログラム・スイッチ1 (▶/||) を押すと、停止したところから再生を開始します。

- 停止中にエフェクト・チャンネル・スイッチ (◀◀) を押すと、録音したフレーズの先頭に戻ります。
- カーソル・スイッチを押すと、押している間だけ逆再生 () または再生 () します。

6. 再生

録音中、停止中にプログラム・スイッチ1 (▶/||) を押すと、録音したフレーズをループ (繰り返し)再生します。プログラム・スイッチ2 (SPEED) または、MASTER/VALUEスイッチ () を押すと、ピッチ (音の高さ) を変えずに再生スピードを落とすことができます。

- プログラム・スイッチ2 (SPEED) を押す度に、再生スピードが、100%、75%、50%、25%、100%、...となります。
- MASTER/VALUEスイッチ () を押す度に、100%、95%、90%...25%と5%刻みで減速できます。

再生中にカーソル・スイッチ () を押すと、押している間だけ現在の設定速度の2倍速で再生します。

また、カーソル・スイッチ () を押すと、押している間だけ逆再生をします。

エフェクト・チャンネル・スイッチ (◀◀) を押すと、押している間だけ早戻しをします。


7. ホールド

再生中にプログラム・スイッチ3 (HOLD) を押すと、押した時点の音を保持することができます。もう一度押すと解除し再生を始めます。ホールド中にカーソル・スイッチを押すと、押している間だけ逆再生 () または再生 () します。

エフェクト・チャンネル・スイッチ (◀◀) を押すと、1秒戻ってホールドを解除して再生を始めます。

フレーズ・トレーナー・モードから抜ける

プログラム・スイッチ1と2を同時に押すか、EXITスイッチを押すと、プレイ・モードに戻ります。

 フレーズ・トレーナー・モードを解除したり、電源をオフにすると、録音されたフレーズは消去されます。

3.エディット

プレイ・モード、インディビジュアル・モードでは、各エフェクトのエディット、ノイズリダクションとプログラム・レベルの設定、プログラム名の変更などのエディット操作を行うことができます。

エディット中はLCDのエディット・アイコンが点滅します。



フレーズ・トレーナー・モードではドライブ・アンプ、キャビネットのエフェクト・ブロックのエディットはできませんが、ネーム・ディスプレイ、MASTER/VALUEディスプレイによる表示やカーソル・スイッチ、MASTER/VALUEスイッチによるエディット操作はできません。また、エフェクト・チャンネルの切り替えもできません。

エフェクトのエディット

エディットしたいエフェクト・ブロックのエフェクト選択ツマミを回すか、エフェクト・ブロック・スイッチを押すと、エフェクト・ブロック・スイッチのLEDが点滅をはじめ、エディット対象として選択されたことを示します。ドライブ・アンプとキャビネット・エフェクトはプログラムごとにA、Bの2チャンネルの設定を持っています。エフェクト・チャンネル・スイッチを押して、どちらをエディットするか選びます。

エフェクト・モデル選択ツマミ、エフェクト・ブロック・スイッチ、バリュー・ツマミを使ってエディットします。

エディットしたエフェクトを保存するには「プログラムのライト」を行ってください。「プログラムのライト」を行わないで電源をオフにしたり、他のプログラムに切り替えると元の設定に戻ります。

エディット例

ここではドライブ・アンプ・エフェクトのBチャンネルに、TUBE ODを設定するのを例にとりて説明します。

1. エフェクト・チャンネル・スイッチを押して、Bチャンネルを選びます(チャンネルLED赤点灯)。
2. DRIVE-AMP(エフェクト・ブロック)スイッチを押して、ネーム・ディスプレイに「TUBE OD」と表示されたときはそのまま、それ以外の場合は、ドライブ・アンプのエフェクト選択ツマミを回してTUBE ODに合わせます。最初から、エフェクト・モデル選択ツマミの位置がTUBE ODのときは、一度他のエフェクト・モデルに切り替えてから、再度TUBE ODに合わせてください。
3. DRIVE-AMPスイッチのLEDが点滅をはじめ、エディット対象として選択されたことを示します(ネーム・ディスプレイには、モデル名が「TUBE OD」が表示されます)。プログラムにTUBE ODがライトされていた場合は、MASTER/VALUEディスプレイのORIGが点灯します。

4. 5つのバリュー・LEDが点灯し、それに対応したバリュー・ツマミはそれぞれ、DRIVE、LEVEL、TREBLE、MIDDLE、BASSが割り当てられ、各パラメータの値を調整するツマミとして機能します(P.16「エフェクト・パラメータ」参照)。

5. ツマミを回すと音色が変化し、ネーム・ディスプレイにそのツマミに割り当てられているパラメータ名が、MASTER/VALUEディスプレイにその値が表示されます。このとき、ツマミを回したときの値と、プログラムにライトされている値(オリジナル・バリュー)が一致すると、MASTER/VALUEディスプレイのORIGが点灯します。

Tips 5つのバリュー・ツマミの代わりに、カーソル・スイッチ()を押してパラメータを切り替えたり、MASTER/VALUEスイッチ()で、パラメータの値を調整することもできます。

ドライブ・アンプ・エフェクト・ブロックを使用しない場合は、DRIVE-AMPスイッチのLEDが点滅している状態で、DRIVE-AMPスイッチを押します(LED消灯)。ドライブ・アンプ・エフェクト・ブロックのエフェクトがバイパスされ、ネーム・ディスプレイに「-OFF-」と表示されます。

キャビネット・エフェクトもドライブ・アンプ・エフェクト同様にエディットします。モジュレーション、ペダル、アンビエンスのエフェクトには、エフェクト・チャンネルがないので「エディット例」の操作2.からはじめます。

モジュレーションとペダルのエフェクト・ブロックまたは、ペダルとアンビエンスのエフェクト・ブロックでは、同時に使用できないエフェクトがあります。このような組み合わせのエフェクト・ブロックを、両方をオンにしようとしたときは、先にオンになっていた方が自動的にオフになります。

ドライブ・アンプ・エフェクト・ブロックのクイック・エディット

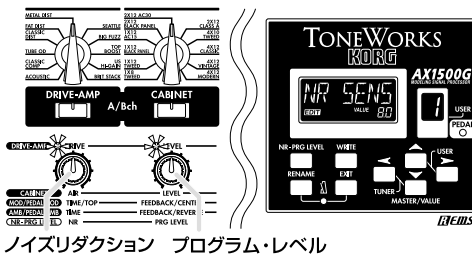
各モードの初期状態では、選択したプログラムにライトされているドライブ・アンプ・エフェクト・ブロックのエフェクトのパラメータが、バリュー・ツマミに割り当てられています(エフェクトがオフの場合を除く)。それぞれのバリュー・ツマミを回すとエディット状態(エフェクト・ブロック・スイッチのLEDとエディット・アイコンが点滅)になり、ネーム・ディスプレイにパラメータ名が、MASTER/VALUEディスプレイにその値が表示され音色が変化します。

使われているエフェクトを変更するときは、エフェクト選択ツマミで選びます。

バリュー・ツマミに他の機能が割り当てられているときや、バイパス、ミュート、フレーズ・トレーナー・モードの録音中などはエディットできません。

ノイズリダクションとプログラム・レベルの設定

1. NR-PRG LEVELスイッチを押します。
2. バリュートマミ1、2を回したり、NR-PRG LEVELスイッチを押すたびに、ノイズリダクションのかかり具合とプログラム・レベルの設定画面に切り替わります。
3. ノイズリダクションのかかり具合は、バリュートマミ1で調整します(範囲OFF~10: MASTER/VALUEディスプレイに表示)。
4. プログラム・レベルは、バリュートマミ2で調整します(範囲0~10: MASTER/VALUEディスプレイに表示)。



Tips バリュートマミ1、2の代わりに、カーソルスイッチ()を押してパラメータを切り替えたり、MASTER/VALUEスイッチ()で、パラメータの値を調整することもできます。

使用するギターによっては、ノイズリダクションの値を上げ過ぎると、音が途切れることがあります。

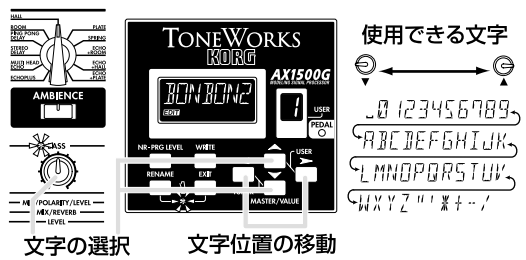
使用するギターによって各プログラムの音量が変化します。ギターに合わせてプログラム・レベルを調整してください。

エディットしたノイズリダクションと、プログラム・レベルを保存するには「プログラムのライト」を行ってください。「プログラムのライト」を行わないで電源をオフにしたり、他のプログラムに切り替えると元の設定に戻ります。

プログラム名の変更

RENAMEスイッチを押してプログラム名(最大7文字)を設定します。カーソルスイッチ()で、変更したい文字の位置を選択し(文字が点滅)、バリュートマミ5で文字を変更します。なお、使える文字は図のとおりです。

Tips MASTER/VALUEスイッチ()で文字を変更することもできます。



プログラムのライト」を行ってください。「プログラムのライト」を行わないで電源をオフにしたり、他のプログラムに切り替えると元のプログラム名に戻ります。

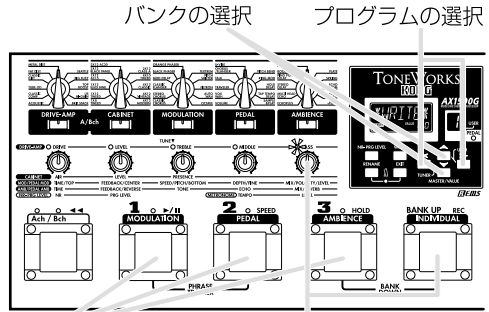
プログラムのライト

エディットしたプログラムをライトします。

1. WRITEスイッチを押すと、ネーム・ディスプレイに「*WRITE*」と表示され、バンク・ナンバー・ディスプレイとプログラムLEDが点滅します。
2. MASTER/VALUEスイッチ()でライト先のバンクを選択し、カーソルスイッチ()でライト先プログラムを選択します。
3. WRITEスイッチをもう一度押すと「COMPLT」と表示され、プログラムのライトが完了してプレイ・モードに戻ります。

Tips バンクの選択はバリュートマミ5またはバンクスイッチ、プログラムの選択はプログラムスイッチでもできます。

ライトしない場合は、EXITスイッチを押してライト作業を解除してください。



- エディットしたプログラムを、他のプログラム・ナンバーにライトすると、ライト先のプログラムは消えてしまいます。
- プリセット・プログラムにライトすることはできません。

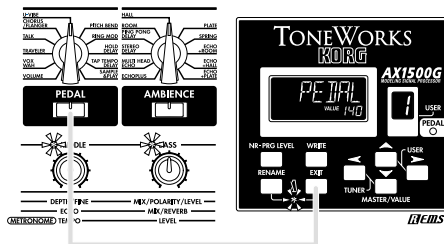
4.資料

エクスプレッション・ペダルの調整(キャリブレーション)

エクスプレッション・ペダルが使用しにくい場合は、この操作を行って最適に動作するように調整します。例えば、踏み込んだときにエフェクトが最大にならなかったり、逆に戻したときに最小にならなかったりする場合は、以下の操作で調整をしてください。

▲ 調整するときは、手でペダルを操作してください。足で操作すると、正確に調整できないことがあります。

- EXITスイッチとPEDALのエフェクト・ブロック・スイッチを同時に押しながら、電源をオンにします。ネーム・ディスプレイに約1秒間“PEDAL”と表示されてから“MIN”と表示されます。

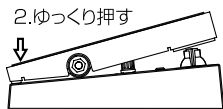


同時に押しながら電源オン

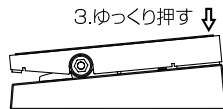
- ペダルをゆっくりと戻し、止まったら手を離しWRITEスイッチを押します。ネーム・ディスプレイの表示が“MIN”から“MAX”に変わります。

▲ 調整を中止するときは、EXITスイッチを押してください。電源オン時の画面になり、プレイ・モードに入ります。

- ペダルをゆっくりと押し、止まったら手を離しWRITEスイッチを押します。



2.ゆっくり押し



3.ゆっくり押し ↓

液晶ディスプレイに約1秒間“COMPLT”と表示されてから電源オン時の画面になり、プレイ・モードに入ります。調整後、ペダルの状態を確認してください。

例えば、ペダル・エフェクト・ブロックのエフェクトをVOLUME、値を“0”に設定し、戻したときのMIN時のレベルで確認する等、わかりやすいエフェクトを割り当てて確認してください。

▲ 調整に失敗すると、液晶ディスプレイに“ERROR”と表示され、調整前の画面(“MIN”と表示)に戻ります。何回調整しても“ERROR”と表示されるときは故障の可能性があります。そのときは、(株)コルグ営業技術課または、お買い上げ店にお問い合わせください。

ユーザー・プログラムを工場出荷時の状態に戻すには(再ロード)

- EXITスイッチとバンク・スイッチを同時に押しながら、電源をオンにします。ネーム・ディスプレイに“RELOAD?”と表示されます。

▲ EXITスイッチを押すと、再ロードされずに電源オン時の画面になりプレイ・モードに入ります。

- WRITEスイッチを押します。ネーム・ディスプレイが“RELOAD”に変わり再ロードが始まります。再ロードが終わると“COMPLT”と約1秒間表示されてから電源オン時の画面になり、プレイ・モードに入ります。

▲ 再ロード中は絶対に電源をオフにしないでください。

▲ 再ロードすると、それまでのユーザー・プログラムはすべて書きかわります。また、マスター・レベル、メトロノームの設定も初期化されます。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、まず以下のことを確認してください。症状が改善されない場合は、お近くの販売店またはコルグ営業技術課までお問い合わせください。

1.電源が入らない

* コンセントにACアダプターが接続されていますか?
(☞P.8)

* 付属のACアダプターが接続されていますか?
(☞P.6、8)

2.音が出ない

* ギター、アンプ、ヘッドホンはそれぞれの端子に正しく接続されていますか?(☞P.6、8)

* アンプの電源がオンになっていて、正しく設定されていますか?

* 接続ケーブルが断線していませんか?

* AX1500Gのマスター・レベルが 0 または、小さい値になっていませんか?(☞P.8)

* AX1500Gのプログラムごとのレベルが 0 または、小さい値になっていませんか?(☞P.13)

* ドライブ・アンプ・エフェクト・ブロックのエフェクトのLEVELが 0 または、小さい値になっていませんか?(☞P.12)

* ギター側のボリュームを絞っていませんか?

* AX1500Gがミュートになっていませんか?(☞P.9)

* ペダル・エフェクト・ブロックでVOLUMEを選んでいて、ペダルが戻りきっていませんか?

3.エフェクトがかからない

* バイパスになっていませんか?(☞P.9)

* プログラムで使うエフェクト・ブロックが、オンになっていますか?(☞P.4、8)

4.メトロノームが動作しない

* プレイ・モードまたは、インディビジュアル・モードになっていますか?
フレーズ・トレーナー・モードではメトロノームは動作しません。

* メトロノームのレベルが 0 になっていませんか?
(☞P.9)

5.ペダルが動作しない

* ペダル・エフェクト・ブロックのエフェクトが、使われているプログラムを選んでありますか?(☞P.8)

* ペダルLEDが点灯していますか?(☞P.10)

* エクスプレッション・ペダルの調整(キャリブレーション)を試してみてください。(☞P.14)

6.ライトができない(ネーム・ディスプレイに“ERROR”と表示される)

* 再ロード中に電源をオフにしませんでしたか?
再ロードしてください。(☞P.14)

主な仕様

□ エフェクト数
56タイプ(最大同時使用エフェクト数:8)

□ プログラム数
96(プリセット48、ユーザー48)

□ 入力
ギターインプット(モノラル標準ジャック)
AUX IN(ステレオ・ミニジャック)

□ 出力
アウトプット×2(モノラル標準ジャック)
ヘッドホン(ステレオ・ミニジャック)

□ チューナー
測定範囲
27.5Hz~2,093Hz(A0~C7)
キャリブレーション
A=438~445Hz

□ メトロノーム
テンポ
♩=40~208

□ 電源
DC9V付属ACアダプター 

□ 外形寸法
420(W) x 188.7(D) x 65.4(H)
(突起部を含む)

□ 重量
2.4kg

□ 付属品
取扱説明書、ACアダプター

* 仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

エフェクト・パラメータ ドライブ・アンプ・エフェクト・ブロック

コンプレッサー、オーバードライブ、ディストーションなどの音色を加工するエフェクトと、音質の調整をする3バンド・イコライザーの2つの組み合わせ、もしくはギターアンプのエフェクト・モデルです。

DRIVE-AMP	ツマミ1 DRIVE	ツマミ2 LEVEL	ツマミ3 TREBLE	ツマミ4 MIDDLE	ツマミ5 BASS
ACOUSTIC	1 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10
CLASSIC COMP	OFF ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10
TUBE OD	1 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10
CLASSIC DIST	1 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10
FAT DIST	1 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10
METAL DIST	1 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10
SEATTLE	1 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10
BIG FUZZ	1 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10
TOP BOOST	1 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10
US HI-GAIN	1 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10
BRIT STACK	1 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10


アコースティック・シミュレータ

エレクトリック・ギターをアコースティック・ギターの音色に変換するエフェクト・モデルです。

ACOUSTIC “ACOUSTC”

ネックに近いピックアップを使用すると、よりリアルなアコースティック・ギターが再現されます。

感度の調整が可能なコンプレッサーを内蔵しています。

 音が歪む場合は、LEVEL、TREBLE、MIDDLE、BASSを少しずつ下げて調整してください。

- ツマミ1 DRIVE コンプレッサーの感度を調整。
- ツマミ2 LEVEL 出力レベルを調整。
- ツマミ3 TREBLE トレブル(高音域)の音質を調整。
- ツマミ4 MIDDLE ミッド(中音域)の音質を調整。
- ツマミ5 BASS ベース(低音域)の音質を調整。


コンプレッサー

コンプレッサーはレベルの小さな音は大きく、レベルの大きな音は小さくして、音量の差を圧縮し、音の粒立ちをそろえるエフェクターです。

CLASSIC COMP “CL COMP”

ピッキングの粒をそろえ、滑らかなサスティンが得られるコンプレッサーです。

DRIVEを“OFF”に設定すると、コンプレッサーの効果なくなり、トーン・コントローラーとして使うことができます。

 音が歪む場合は、LEVEL、TREBLE、MIDDLE、BASSを少しずつ下げて調整してください。

- ツマミ1 DRIVE コンプレッサーの感度を調整。
- ツマミ2 LEVEL 出力レベルを調整。
- ツマミ3 TREBLE トレブル(高音域)の音質を調整。
- ツマミ4 MIDDLE ミッド(中音域)の音質を調整。
- ツマミ5 BASS ベース(低音域)の音質を調整。

オーバードライブ、ディストーション、ファズ、アンプ

音量を適度に上げることで音を歪ませ、豊かな倍音を与えるエフェクト・モデルです。

TUBE OD “TUBE OD”

ピッキングのニュアンスを引き出す、'70年代のオーバードライブを再現したモデルです。

CLASSIC DIST “CL DIST”

'70年代の代表的なディストーション・ペダルを再現したモデルです。

FAT DIST “FATDIST”

'80年代風のファットなサウンドのディストーション・ペダルを再現したモデルです。

METAL DIST “MTLDIST”

'90年代のメタリックな歪みを再現したモデルです。

SEATTLE “SEATTLE”

シアトルを発祥の地とするグランジ・ロックに最適なペダルのモデルです。

BIG FUZZ “BIGFUZZ”

ビッグなサウンドの代表的なファズを再現したモデルです。

TOP BOOST “TOP BST”

VOX AC30風の歪みを再現したモデルです。

US HI-GAIN “US HI-G”

USA MADEのハイ・ゲイン・アンプ風の歪みを再現したモデルです。

BRIT STACK “BRITSTK”

BRITISH MADEのスタック・アンプ風の歪みを再現したモデルです。

- ツマミ1 DRIVE 歪みの量を調整。
- ツマミ2 LEVEL 出力レベルを調整。
- ツマミ3 TREBLE トレブル(高音域)の音質を調整。
- ツマミ4 MIDDLE ミッド(中音域)の音質を調整。
- ツマミ5 BASS ベース(低音域)の音質を調整。

キャビネット・エフェクト・ブロック

ギター・アンプにとって、キャビネットの形状、スピーカーのタイプと数は、そのキャラクターを決める重要な要素です。

キャビネット・エフェクト・ブロックはビンテージ・アンプからモダン・アンプまで、様々なアンプのキャビネット、スピーカーの特性を忠実に再現するエフェクト・モデルです。

ミキサー等へのダイレクト出力時に特に大きな効果を発揮しますが、ギター・アンプの使用時にも効果を発揮します。

CABINET	ツマミ1 AIR	ツマミ2 LEVEL	ツマミ3 PRESENCE	ツマミ4	ツマミ5
1 X 8 TWEED	AP, 0.3 ~ 9.7, Ln	1 ~ 10	0 ~ 10		
1 X 12 TWEED	AP, 0.3 ~ 9.7, Ln	1 ~ 10	0 ~ 10		
1 X 12 BLACK PANEL	AP, 0.3 ~ 9.7, Ln	1 ~ 10	0 ~ 10		
1 X 12 AC15	AP, 0.3 ~ 9.7, Ln	1 ~ 10	0 ~ 10		
2 X 12 BLACK PANEL	AP, 0.3 ~ 9.7, Ln	1 ~ 10	0 ~ 10		
2 X 12 AC30	AP, 0.3 ~ 9.7, Ln	1 ~ 10	0 ~ 10		
2 X 12 CLASS A	AP, 0.3 ~ 9.7, Ln	1 ~ 10	0 ~ 10		
4 X 10 TWEED	AP, 0.3 ~ 9.7, Ln	1 ~ 10	0 ~ 10		
4 X 12 CLASSIC	AP, 0.3 ~ 9.7, Ln	1 ~ 10	0 ~ 10		
4 X 12 VINTAGE	AP, 0.3 ~ 9.7, Ln	1 ~ 10	0 ~ 10		
4 X 12 MODERN	AP, 0.3 ~ 9.7, Ln	1 ~ 10	0 ~ 10		

1 X 8 TWEED “1-8 TWD”
8インチX1のスピーカーを持つ、オープン・バックのキャビネット・モデルです。

1 X 12 TWEED “1-12 TWD”
12インチX1のスピーカーを持つ、オープン・バックのブルーな特性のキャビネット・モデルです。

1 X 12 BLACK PANEL “1-12 BLK”
12インチX1のスピーカーを持つ、オープン・バックのブライトな特性のキャビネット・モデルです。

1 X 12 AC15 “1-12AC15”
12インチX1のスピーカーを持つ、オープン・バック、ブリティッシュ・タイプのキャビネット・モデルです。

2 X 12 BLACK PANEL “2-12 BLK”
12インチX2のスピーカーを持つ、オープン・バック、アメリカン・タイプのキャビネット・モデルです。

2 X 12 AC30 “2-12AC30”
12インチX2のスピーカーを持つ、オープン・バック、ブリティッシュ・タイプのキャビネット・モデルです。

2 X 12 CLASS A “2-12 CLA”
12インチX2のスピーカーを持つ、オープン・バック、モダン・タイプのキャビネット・モデルです。

4 X 10 TWEED “4-10 TWD”
10インチX4のスピーカーを持つ、オープン・バックのキャビネット・モデルです。

4 X 12 CLASSIC “4-12 CLS”
25W、12インチX4のスピーカーを持つ、クローズド・バックのキャビネット・モデルです。

4 X 12 VINTAGE “4-12 VIN”
30W、12インチX4のスピーカーを持つ、クローズド・バックのキャビネット・モデルです。

4 X 12 MODERN “4-12 MDN”
75W、12インチX4のスピーカーを持つ、クローズド・バックのキャビネット・モデルです。

ツマミ1 AIR
キャビネットの共振や、スピーカー間の干渉によるコム・フィルターの効果を再現します。

値を小さくするとギター・アンプ接続向けの音になり、大きくするとライン向けの音になります。

ツマミ2 LEVEL
出力レベルを調整。

ツマミ3 PRESENCE
高音域の音質を調整。

 音が歪む場合は、LEVEL、PRESENCEを少しずつ下げて調整してください。

モジュレーション・エフェクト・ブロック

コーラス、フランジャー、フェイザー、ピッチ・シフター等のモジュレーション(変調)系のエフェクト・モデルです。

MODULATION	ツマミ1 TIME	ツマミ2 FEEDBACK	ツマミ3 SPEED/PITCH	ツマミ4 DEPTH/FINE	ツマミ5 MIX/POLARITY
CLASSIC CHORUS	-	-	0.1 ~ 10 [Hz]	0 ~ 10	1, 2
STEREO CHORUS	1 ~ 10	-	0.1 ~ 10 [Hz]	0 ~ 10	-
CLASSIC FLANGER	1 ~ 10	0 ~ 10	0.1 ~ 10 [Hz]	0 ~ 10	-
MOD DELAY	0.5 ~ 900 [ms]	0 ~ 10	0.1 ~ 10 [Hz]	0 ~ 10	0 ~ 10
BLACK PHASER	-	0 ~ 10	0.1 ~ 10 [Hz]	-	-
ORANGE PHASER	-	0 ~ 10	0.1 ~ 10 [Hz]	-	-
TEXTREM	-	-	1 ~ 10 [Hz]	0 ~ 10	-
PITCH SHIFTER	0 ~ 900 [ms]	0 ~ 10	-24 ~ 24 [x100 CENT]	-15 ~ 15 [CENT]	0 ~ 10
FILTRON	1 ~ 10	0 ~ 10	-	0 ~ 10	up, dn
AUTO WAH	1 ~ 10	-	-	0 ~ 10	up, dn
OCTAVE	-	-	-	0 ~ 10	0 ~ 10

コーラス、フランジャー

コーラス、フランジャーは、音をわずかに遅らせて音程を揺らし、原音と混ぜ合わせることで音にうねりや広がり、ビブラート感を与えるエフェクターです。

CLASSIC CHORUS “CL CHOR”

ピンテージ・コーラスです。ステレオで使用すると、空間で音が混ぜ合わされ最も効果的です。

ツマミ3 SPEED 音程を揺らすスピードを調整。

ツマミ4 DEPTH 音程を揺らす深さを調整。

ツマミ5 MIX
1: モノラル出力時に使用。
2: ステレオ出力時に使用。

STEREO CHORUS “ST CHOR”

左右でエフェクト音の位相を反転させて、広がりを与えるステレオ・タイプのピンテージ・コーラスです。3つのパラメータで多彩な効果がえられます。

ツマミ1 TIME 音の遅れ時間を調整。

ツマミ2 - - - - -

ツマミ3 SPEED 音程を揺らすスピードを調整。

ツマミ4 DEPTH 音程を揺らす深さを調整。ツマミを10の位置にするとTIMEツマミは無効になります。

CLASSIC FLANGER “CL FLAN”

粘りのあるピンテージ・フランジャーです。設定によってコーラス、ビブラートのような効果も得られます。

ツマミ1 TIME 音の遅れ時間を調整。効果のかかる帯域をコントロールします。
0に近いほど高い音程でうねります。

ツマミ2 FEEDBACK クセの強さを調整。ジェット効果を得るときは適度に上げて使用します。

ツマミ3 SPEED 音程を揺らすスピードを調整。

ツマミ4 DEPTH 音程を揺らす深さを調整。ツマミを10の位置にするとTIMEツマミは無効になります。

MOD DELAY “MOD DLY”

ディレイ・タイムをゆらしてコーラス、フランジャーのような効果も得られます。

ツマミ1 TIME ディレイ・タイム(音の遅れ時間)を調整。

ツマミ2 FEEDBACK フィード・バック(音の繰り返し)を調整。

ツマミ3 SPEED 音程を揺らすスピードを調整。

ツマミ4 DEPTH 音程を揺らす深さを調整。

ツマミ5 MIX 効果のミックス量を調整。

フェイザー

位相を周期的に変化させた音を原音に混ぜ合わせることで、音にうねりを与えるエフェクターです。段数が多くなるほどマイルドな音質になります。

BLACK PHASER “BL PHAS”

ポピュラーな4段のピンテージ・フェイザーです。

ORANGE PHASER “OR PHAS”

マイルドな効果が得られる10段のピンテージ・フェイザーです。

ツマミ2 FEEDBACK クセの強さを調整。

ツマミ3 SPEED 音のうねりのスピードを調整。

トレモロ

音量を周期的に変化させることによって、音に奥行きを与えます。

TEXTREM “TEXTREM”

ギター・アンプに内蔵されているトレモロを再現したエフェクト・モデルです。

ツマミ3 SPEED トレモロの速さを調整。

ツマミ4 DEPTH トレモロの深さを調整。

ピッチ・シフター

音程を変化させるエフェクターです。

PITCH SHIFTER “PITCH”

±2オクターブの可変幅を持つピッチ・シフターです。

ツマミ1 TIME ディレイ・タイム(音の遅れ)を調整。

ツマミ2 FEEDBACK フィード・バック(音の繰り返し)を調整。

ツマミ3 PITCH 音程の変化幅を調整。

ツマミ4 FINE 音程の変化幅を微調整。

ツマミ5 MIX 効果のミックス量を調整。

オート・ワウ

ギターを引く強さによって、自動的に開いたり閉じたりするオート・ワウ・フィルターです。

FILTRON “FILTRON”

ロー・パス・フィルター・タイプのオート・ワウです。

- ツマミ1 TIME ピッキングに対するワウの立ち上がりの早さを調整。
- ツマミ2 FEEDBACK ワウ音のピークを調整。
- ツマミ3 - - - - -
- ツマミ4 DEPTH ピッキングに対するワウの変化の感度を調整。
- ツマミ5 POLARITY ワウの動作する方向を設定。


AUTO WAH “AUTOWAH”

ペダル・ワウと同等のバンド・パス・フィルター・タイプのオート・ワウです。DRIVE-AMPエフェクト・ブロックの前に配置されています。

- ツマミ1 TIME ピッキングに対するワウの立ち上がりの早さを調整。
- ツマミ2 - - - - -
- ツマミ3 - - - - -
- ツマミ4 DEPTH ピッキングに対するワウの変化の感度を調整。
- ツマミ5 POLARITY ワウの動作する方向を設定。

オクターブ

1オクターブ低い音を作りだし、原音に混ぜ合わせることによって音に重厚感を与えます。


 複数の弦を同時に弾いた場合や、低音弦では誤動作を起すことがあります。

OCTAVE “OCTAVE”

- ツマミ4 DEPTH 1オクターブ低い重低音の量を調整。
- ツマミ5 MIX 原音の量を調整。

ペダル・エフェクト・ブロック

エクスプレッション・ペダルで、リアルタイムにコントロールできるエフェクト・モデルです。ボリューム・ペダルとモジュレーション系エフェクトのVOX WAH～RING MOD、アンビエンス系エフェクトのHOLD DELAY～SAMPLE&PLAYなどがあります。

 VOX WAH～RING MODは、モジュレーション・エフェクト・ブロックと同時に使用することはできません。また、HOLD DELAY～SAMPLE&PLAYは、アンビエンス・エフェクト・ブロックと同時に使用することはできません。

PEDAL	つまみ1 TOP/TIME	つまみ2 FEEDBACK/ CENTER/REVERSE	つまみ3 BOTTOM/SPEED/ PITCH/TONE	つまみ4 DEPTH/FINE	つまみ5 LEVEL/MIX/ POLARITY
VOLUME	-	-	-	-	0～10
VOX WAH	-	-	-	-	-
TRAVELER	-	0～10	-	-	0～10
TALK	A, E, I, O, U	A, E, I, O, U	A, E, I, O, U	-	-
CHORUS/FLANGER	1～10	0～10	0.1～10	0～10	-
U-VIBE	-	-	-	0～10	1, 2
PITCH BEND	0～900[ms]	0～10	-24～24[x100 CENT]	-15～15[CENT]	0～10
RING MOD	-	-	1～10	-	-
HOLD DELAY	0[ms]～3[SEC]	0～10	1～10	-	0～10
TAP DELAY	0[ms]～3[SEC]	0～10	1～10	-	0～10
SAMPLE&PLAY	0.5～8[SEC]	OFF, LP1...b-4	-	-	0～10


ボリューム

ボリューム・ペダルです。

VOLUME “VOLUME”
つまみ5 LEVEL ペダルを上げて(戻して)いるときの最小レベルを調整。

ペダル・ワウ、トラベラー、トーキング・ペダル

ペダルで周波数をコントロールするワウ(フィルター)です。

 モジュレーション・エフェクト・ブロックが、オンになっているプログラムでこのエフェクトを使用すると、自動的にモジュレーション・エフェクト・ブロックがオフになります。


VOX WAH “WAH”
ピンチェージ・ワウです。ドライブ・アンプ・エフェクト・ブロックの前に配置されています。パラメータはありません。

TRAVELER “TRAVEL”
ローパス・フィルター・タイプのワウです。
つまみ1 - - - - -
つまみ2 FEEDBACK フィルターのピーク量を調整。
つまみ3 - - - - -
つまみ4 - - - - -
つまみ5 LEVEL 出力レベルを調整。

TALK “TALK”
ギターがしゃべっているような効果が得られます。
つまみ1 TOP ペダルを踏みこんでいるときの母音を選択。
つまみ2 CENTER ペダルを半踏みしているときの母音を選択。
つまみ3 BOTTOM ペダルを上げているときの母音を選択。
母音---A, E, I, O, U

コーラス/フランジャー


ペダルでエフェクトのミックス量を、コントロールできるコーラス、フランジャーです。

 モジュレーション・エフェクト・ブロックが、オンになっているプログラムでこのエフェクトを使用すると、自動的にモジュレーション・エフェクト・ブロックがオフになります。

CHORUS/FLANGER “CH/FLAN”
つまみ1 TIME ディレイ・タイム(音の遅れ)の調整。
つまみ2 FEEDBACK フィード・バック(音の繰り返し)を調整。
つまみ3 SPEED 音程を揺らすスピードを調整。
つまみ4 DEPTH 音程を揺らす深さを調整。

ユー・バイブ

ペダル・バイブを再現します。

 モジュレーション・エフェクト・ブロックが、オンになっているプログラムでこのエフェクトを使用すると、自動的にモジュレーション・エフェクト・ブロックがオフになります。

U-VIBE “U-VIBE”
つまみ4 DEPTH 効果の深さを調整。
つまみ5 MIX 0: 原音とエフェクト音をミックス。
(コーラス・モード)
1: エフェクト音のみ出力。
(ビブラート・モード)

ピッチ・バンド

ペダルでシフト量をコントロールできるピッチシフターです。

- モジュレーション・エフェクト・ブロックが、オンになっているプログラムでこのエフェクトを使用すると、自動的にモジュレーション・エフェクト・ブロックがオフになります。

PITCH BEND	" P BEND "
ツマミ1 TIME	ディレイ・タイム(音の遅れ)を調整。
ツマミ2 FEEDBACK	フィードバック(音の繰り返し)を調整。
ツマミ3 PITCH	音程の変化幅を調整。
ツマミ4 FINE	音程の変化幅を微調整。
ツマミ5 MIX	効果のミックス量を調整。10の位置にすると、エフェクト音のみ出力されます。

リング・モジュレーター

音にサイン波を掛け合わせ、鐘の音のような音を作り出すエフェクターです。ネックよりのピック・アップを使用し、ギターのトーンを絞って、12フレット付近で演奏すると、よりきれいな効果が得られます。

- モジュレーション・エフェクト・ブロックが、オンになっているプログラムでこのエフェクトを使用すると、自動的にモジュレーション・エフェクト・ブロックがオフになります。

RING MOD	" RINGMOD "
ペダルで周波数をコントロールできるリング・モジュレーターです。	
ツマミ3 PITCH	ペダルを踏みこんだ時の音色を調整。

ディレイ

遅らせた音を原音にミックスすることで、音に厚みと広がりを与えます。

- アンビエンス・エフェクト・ブロックが、オンになっているプログラムでこのエフェクトを使用すると、自動的にアンビエンス・エフェクト・ブロックがオフになります。

HOLD DELAY "HOLDDLY"
通常はディレイとして動作しますが、ペダルを深く踏み込んでスイッチを押すと、ペダルLEDが点滅しホールド(ディレイ音が鳴りつづける)されます。ペダルの踏み具合で、ディレイへの入力レベルがコントロールできるので、サウンド・オン・サウンドなどの特殊効果が簡単に得られます。インディビジュアル・モードのときはプログラム・スイッチ2を押してもホールドできます。

TAP TEMPO DELAY "TAP DLY"
ペダルを深く踏み込んでスイッチを2回押すと、そのテンポでディレイがかかるタップ・テンポ・ディレイです。スイッチが押された瞬間は、ペダルLEDが一時的に消灯します。ペダルの踏み具合でディレイの入力レベルをコントロールします。インディビジュアル・モードのときはプログラム・スイッチ2を2回押すことでテンポを決めることもできます。

ツマミ1 TIME	ディレイ・タイム(音の遅れ)を調整。
ツマミ2 FEEDBACK	フィードバック(音の繰り返し)を調整。
ツマミ3 TONE	エフェクト音の音質を調整。
ツマミ4 - - -	- - - - -
ツマミ5 MIX	エフェクト音のミックス量を調整。

サンプル・アンド・プレイ

- アンビエンス・エフェクト・ブロックが、オンになっているプログラムでこのエフェクトを使用すると、自動的にアンビエンス・エフェクト・ブロックがオフになります。

SAMPLE & PLAY "S + PLAY"
最大8秒の録音ができます。リパースの設定によって、スクラッチのような特殊効果が得られます。

1. エクスプレッション・ペダルを深く踏み込んで、録音待機状態にします。このときペダルLEDが点滅します。インディビジュアル・モードのときはプログラム・スイッチ2を押して録音待機状態にできます。
2. 接続したギターでフレーズ等を弾きます。ギターを弾いた時点で自動的に録音が始まり、ペダルLEDの点滅が早くなります。

3. TIMEで設定された録音時間が経過すると、録音が終了しペダルLEDが点灯にかかります。また、設定された録音時間が経過しなくても、ペダルを深く踏み込む(エクスプレッション・ペダル・スイッチを押す)と、その時点で録音を終了します。録音をやり直すときは、「1. エクスプレッション...」からくり返してください。

- 録音中にペダルを一度戻してから踏むと、その時点で録音を終了し、再生を開始することもできます。

4. エクスプレッション・ペダルを操作します。ペダルを踏んだときに、録音したフレーズが再生され、ペダルを戻すとREVERSEがA-1 ~ A-4または、b-1 ~ b-4に設定されている場合はその速さで逆再生されます。OFFの場合は通常再生のみです。

LP1、LP2に設定すると、ペダルを踏んでいるときにループ(くり返し)再生します。ペダルを戻して再びペダルを踏むと先頭から再生を始めます。

- ギターをある一定レベル以上の音量で弾かないと、録音は開始されません。

- 録音した音は、フレーズ・トレーナー・モードに入るか、電源オフにより消去されます。

ツマミ1 TIME	サンプル・タイム(録音時間)を設定。
ツマミ2 REVERSE	OFF: 踏んで再生、終わりまで再生後停止。 LP1: 踏んでループ再生、戻して停止。 LP2: 踏んでループ再生、戻して終わりまで再生後停止。 A-1 ~ A-4: 踏んで再生、戻して逆再生。 b-1 ~ b-4: 踏んで先頭から再生、戻して後尾から逆再生。

ツマミ3 - - -	- - - - -
ツマミ4 - - -	- - - - -
ツマミ5 MIX	サンプル音の出力レベルを調整。

アンビエンス・エフェクト・ブロック

ディレイ、リバーブ、エコー等の残響系エフェクト・モデルです。

AMBIENCE	ツマミ1 TIME	ツマミ2 FEEDBACK	ツマミ3 TONE	ツマミ4 ECHO	ツマミ5 MIX/REVERB
ECHO PLUS	60[mS] ~ 3[SEC]	0 ~ 10	1 ~ 10	-	0 ~ 10
MULTI HEAD ECHO	180[mS] ~ 3[SEC]	0 ~ 10	1 ~ 10	1, 2, 3, 4, 5	0 ~ 10
STEREO DELAY	0[mS] ~ 3[SEC]	0 ~ 10	1 ~ 10	-	0 ~ 10
PING PONG DELAY	0[mS] ~ 3[SEC]	0 ~ 10	1 ~ 10	-	0 ~ 10
ROOM	1 ~ 10	-	1 ~ 10	-	0 ~ 10
HALL	1 ~ 10	-	1 ~ 10	-	0 ~ 10
PLATE	1 ~ 10	-	1 ~ 10	-	0 ~ 10
SPRING	1 ~ 10	-	1 ~ 10	-	0 ~ 10
ECHO+ROOM	0[mS] ~ 2[SEC]	0 ~ 10	1 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10
ECHO+HALL	0[mS] ~ 2[SEC]	0 ~ 10	1 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10
ECHO+PLATE	0[mS] ~ 2[SEC]	0 ~ 10	1 ~ 10	0 ~ 10	0 ~ 10

テープ・エコー・シミュレータ

アナログの磁気テープに音を録音し、少し離れた再生ヘッドから音を再生することによって得られる、テープ・エコーの独特の効果を再現するエフェクト・モデルです。

ECHO PLUS “ECHO+”
テープ・エコーを再現します。回転速度のムラによる音程のずれや、磁気テープによる音の歪みや音質劣化も再現します。

ツマミ1 TIME ディレイ・タイム(音の遅れ)を調整。
ツマミ2 FEEDBACK フィード・バック(音の繰り返し)を調整。
ツマミ3 TONE エコーの音質を調整。
ツマミ4 - - - - -
ツマミ5 MIX エコーのミックス量を調整。

MULTI HEAD ECHO “MH ECHO”
3つの再生ヘッドを持ったテープ・エコーを再現します。磁気テープによる音の歪みや音質劣化も再現します。

ツマミ1 TIME ディレイ・タイム(音の遅れ)を調整。
ツマミ2 FEEDBACK フィード・バック(音の繰り返し)を調整。
ツマミ3 TONE エコーの音質を調整。
ツマミ4 ECHO 1: 通常のエコー。

- ♪♪♪「タ・タ・タ」というリズムでディレイ音を再生。
 - ♪♪♪「タッ・タ・タ」というリズムでディレイ音を再生。
 - ♪♪♪「タ・タ・タッタ」というリズムでディレイ音を再生。
 - ♪♪♪「タ・タ・タッタ」というリズムでディレイ音を再生。
 - ♪♪♪「タ・タ・タ・タ」というリズムでディレイ音を再生。
- ツマミ5 MIX ディレイ音のミックス量を調整。

ディレイ

STEREO DELAY “ST DLY”
左右で時間差を持ったステレオ・ディレイが、広がりを与えます。

PING PONG DELAY “PP DLY”
音が左右に飛び交うステレオ・ディレイです。

ツマミ1 TIME ディレイ・タイム(音の遅れ)を調整。
ツマミ2 FEEDBACK フィード・バック(音の繰り返し)を調整。
ツマミ3 TONE ディレイ音の音質を調整。
ツマミ4 - - - - -
ツマミ5 MIX ディレイ音のミックス量を調整。

リバーブ

部屋やコンサートホールの残響や、プレートやスプリングなどを用いたリバーブ機器の残響を再現したエフェクト・モデルです。

ROOM “ROOM”
スタジオ程度の小さな部屋から、ガレージ程度の中規模の部屋の残響を再現します。

HALL “HALL”
中規模ホールから大規模なホールの残響を再現します。

PLATE “PLATE”
プレート・リバーブを再現します。

SPRING “SPRING”
ギター・アンプなどに内蔵されている、スプリング・リバーブを再現したエフェクト・モデルです。

ツマミ1 TIME 残響の長さを調整。
ツマミ2 - - - - -
ツマミ3 TONE 残響の音質を調整。
ツマミ4 - - - - -
ツマミ5 MIX 残響のミックス量を調整。

ECHO+ROOM “ECHO RM”
スタジオ程度の小さな部屋から、ガレージ程度の中規模の部屋の残響を再現するルーム・リバーブと、ステレオ・ディレイの2つを同時に使える複合エフェクト・モデルです。

ECHO+HALL “ECHO HL”
中規模ホールから大規模なホールの残響を再現するホール・リバーブと、ステレオ・ディレイの2つを同時に使える複合エフェクト・モデルです。

ECHO+PLATE “ECHO PL”
プレート・リバーブと、ステレオ・ディレイの2つを同時に使える複合エフェクト・モデルです。

ツマミ1 TIME ディレイ・タイム(音の遅れ)を調整。
ツマミ2 FEEDBACK フィード・バック(音の繰り返し)を調整。
ツマミ3 TONE ディレイ音の音質を調整。
ツマミ4 ECHO ディレイ音のミックス量を調整。
ツマミ5 REVERB 残響のミックス量を調整。

プリセット・プログラム・リスト

オフのエフェクト・ブロックをオンにすると、斜体のエフェクト・モデルが選択されます。
 キャビネット・エフェクト・ブロックには、各プログラムに適したキャビネット・モデルを選択しています。ミキサー等へのダイレクト出力時に使用する場合は、キャビネット・エフェクト・ブロックをオンにして使用してください。

BANK#	プログラム名	A (DRIVE-AMP • CABINET)	B (DRIVE-AMP • CABINET)	MODULATION	PEDAL	AMBIENCE
0	1 ONE	CLASSIC COMP • 2x12 BLACK PANEL	METAL DIST • 4x12 VINTAGE	STEREO CHORUS	VOLUME	HALL
	2 FRUITLP	TUBE OD • 1x12 AC15	BRIT STACK • 4x12 CLASSIC	MOD DELAY	SAMPLE&PLAY	SPRING
	3 VULGAR	BRIT STACK • 4x12 VINTAGE	BRIT STACK • 4x12 VINTAGE	PITCH SHIFTER	VOLUME	HALL
1	1 ACUSTIX	ACOUSTIC • 4x12 CLASSIC	TUBE OD • 4x10 TWEED	CLASSIC CHORUS	VOLUME	PING PONG DELEY
	2 LOVEGUN	BRIT STACK • 4x12 VINTAGE	BRIT STACK • 4x12 VINTAGE	CLASSIC CHORUS	PITCH BEND	HALL
	3 GRUNGY	BIG FUZZ • 4x12 MODERN	BIG FUZZ • 4x12 MODERN	CLASSIC FLANGER	VOLUME	SPRING
2	1 SUMMER	CLASSIC COMP • 1x12 BLACK PANEL	TUBE OD • 4x12 MODERN	STEREO CHORUS	TAP TEMPO DELAY	STEREO DELEY
	2 "STP"	US HI-GAIN • 4x12 VINTAGE	US HI-GAIN • 4x12 VINTAGE	MOD DELAY	VOLUME	ROOM
	3 GRINDER	BRIT STACK • 4x12 MODERN	BRIT STACK • 4x12 MODERN	PITCH SHIFTER	VOLUME	HALL
3	1 MARATHN	CLASSIC COMP • 4x12 MODERN	ACOUSTIC • 4x12 VINTAGE	STEREO CHORUS	CHORUS/FLANGER	ECHO+PLATE
	2 STONE	BRIT STACK • 1x12 BLACK PANEL	BRIT STACK • 4x12 CLASSIC	MOD DELAY	VOLUME	PLATE
	3 *ZEP*	ACOUSTIC • 4x12 VINTAGE	METAL DIST • 4x12 VINTAGE	STEREO CHORUS	VOLUME	ECHO PLUS
4	1 ROOSTER	CLASSIC COMP • 4x12 CLASSIC	SEATTLE • 4x12 MODERN	AUTO WAH	VOX WAH	ECHO PLUS
	2 BEETLE	TOP BOOST • 1x12 AC15	TUBE OD • 4x12 VINTAGE	BLACK PHASER	VOLUME	ROOM
	3 BECKOLA	CLASSIC DIST • 1x12 BLACK PANEL	FAT DIST • 4x12 CLASSIC	CLASSIC CHORUS	TALK	MULTI HEAD ECHO
5	1 L-A	CLASSIC COMP • 1x12 BLACK PANEL	TUBE OD • 1x12 AC15	MOD DELAY	VOLUME	SPRING
	2 LODRIVE	FAT DIST • 4x12 VINTAGE	FAT DIST • 4x12 MODERN	ORANGE PHASER	VOLUME	STEREO DELEY
	3 AXPRNCE	TOP BOOST • 2x12 AC30	BIG FUZZ • 2x12 AC30	AUTO WAH	VOLUME	PLATE
6	1 PET-CLN	ACOUSTIC • 1x12 BLACK PANEL	CLASSIC COMP • 1x12 BLACK PANEL	STEREO CHORUS	VOLUME	ECHO+PLATE
	2 BLUES	CLASSIC COMP • 4x10 TWEED	TOP BOOST • 1x8 TWEED	STEREO CHORUS	VOLUME	ROOM
	3 IMAGES	CLASSIC COMP • 4x10 TWEED	METAL DIST • 4x12 CLASSIC	AUTO WAH	VOX WAH	PLATE
7	1 LP NECK	CLASSIC COMP • 2x12 AC30	US HI-GAIN • 2x12 AC30	CLASSIC CHORUS	VOLUME	PING PONG DELEY
	2 TRIPPIN	CLASSIC COMP • 4x10 TWEED	TUBE OD • 4x10 TWEED	ORANGE PHASER	VOLUME	ECHO PLUS
	3 RHYTHM	CLASSIC COMP • 1x12 TWEED	METAL DIST • 4x12 MODERN	BLACK PHASER	TAP TEMPO DELAY	ECHO PLUS
8	1 FATSRAT	TUBE OD • 2x12 BLACK PANEL	BRIT STACK • 4x12 CLASSIC	MOD DELAY	VOLUME	ROOM
	2 HIDDEN	CLASSIC COMP • 4x12 MODERN	CLASSIC DIST • 2x12 AC30	FILTRON	TRAVELER	PING PONG DELEY
	3 OCTAMAN	TOP BOOST • 4x12 VINTAGE	SEATTLE • 4x12 VINTAGE	OCTAVE	VOLUME	ECHO+PLATE
9	1 INDABOX	BIG FUZZ • 1x8 TWEED	FAT DIST • 1x8 TWEED	MOD DELAY	TALK	ROOM
	2 U-VIBE	CLASSIC COMP • 4x12 VINTAGE	FAT DIST • 4x12 VINTAGE	ORANGE PHASER	U-VIBE	PLATE
	3 BENDER	US HI-GAIN • 4x12 MODERN	METAL DIST • 4x12 MODERN	PITCH SHIFTER	PITCH BEND	SPRING
A	1 FILTRON	CLASSIC COMP • 4x12 VINTAGE	US HI-GAIN • 1x12 AC15	FILTRON	VOLUME	STEREO DELEY
	2 BARITON	CLASSIC COMP • 2x12 CLASS A	TUBE OD • 4x12 CLASSIC	TEXTREM	VOLUME	ECHO+PLATE
	3 CHORUS	CLASSIC COMP • 2x12 BLACK PANEL	FAT DIST • 4x12 CLASSIC	CLASSIC CHORUS	VOLUME	PLATE
B	1 S+P LP	CLASSIC COMP • 4x10 TWEED	US HI-GAIN • 4x12 CLASSIC	CLASSIC FLANGER	SAMPLE&PLAY	ECHO+HALL
	2 S+P SLW	TOP BOOST • 2x12 AC30	BRIT STACK • 4x12 CLASSIC	MOD DELAY	SAMPLE&PLAY	PLATE
	3 S+P FST	TUBE OD • 4x12 MODERN	US HI-GAIN • 2x12 BLACK PANEL	STEREO CHORUS	SAMPLE&PLAY	MULTI HEAD ECHO
C	1 HOLDDLY	CLASSIC COMP • 4x12 VINTAGE	US HI-GAIN • 4x12 MODERN	STEREO CHORUS	HOLD DELAY	STEREO DELEY
	2 TAP DLY	TUBE OD • 1x12 BLACK PANEL	CLASSIC DIST • 4x12 CLASSIC	CLASSIC CHORUS	TAP TEMPO DELAY	PLATE
	3 3-HEAD-	TOP BOOST • 1x8 TWEED	BIG FUZZ • 2x12 BLACK PANEL	ORANGE PHASER	VOLUME	MULTI HEAD ECHO
D	1 TWEED	TUBE OD • 2x12 BLACK PANEL	CLASSIC DIST • 1x12 TWEED	MOD DELAY	VOLUME	ECHO+HALL
	2 60'SVOX	TOP BOOST • 2x12 AC30	TOP BOOST • 2x12 AC30	TEXTREM	VOLUME	ROOM
	3 BRITISH	BRIT STACK • 4x12 VINTAGE	BRIT STACK • 4x12 VINTAGE	AUTO WAH	VOX WAH	ECHO+PLATE
E	1 CREED	ACOUSTIC • 1x8 TWEED	CLASSIC DIST • 4x12 CLASSIC	STEREO CHORUS	VOLUME	PLATE
	2 STK-LN	BRIT STACK • 4x12 CLASSIC	BRIT STACK • 4x12 VINTAGE	BLACK PHASER	VOLUME	SPRING
	3 PP-DLY	TOP BOOST • 2x12 AC30	US HI-GAIN • 4x12 MODERN	CLASSIC CHORUS	CHORUS/FLANGER	PING PONG DELEY
F	1 CLN-LN	CLASSIC COMP • 2x12 CLASS A	TOP BOOST • 2x12 AC30	MOD DELAY	VOLUME	HALL
	2 "VH"	BRIT STACK • 4x12 CLASSIC	BRIT STACK • 4x12 VINTAGE	CLASSIC FLANGER	CHORUS/FLANGER	MULTI HEAD ECHO
	3 7-STGTR	US HI-GAIN • 4x12 MODERN	US HI-GAIN • 4x12 MODERN	STEREO CHORUS	VOLUME	ECHO+HALL

保証規定(必ずお読みください)

本保証書は、保証期間中に本製品を保証するもので、付属品類は保証の対象になりません。保証期間内に本製品が故障した場合は、保証規定によって無償修理いたします。

1. 本保証書の有効期間はご購入日より1ケ年です。
2. 次の修理等は保証期間内であっても有料修理となります。
消耗部品(電池など)の交換。
お取扱い方法が不適当のために生じた故障。
天災(火災、浸水等)によって生じた故障。
故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合。
不当な改造、調整、部品交換などにより生じた故障または損傷。
保証書にお買い上げ日、販売店名が未記入の場合、または字句が書き替えられている場合。
本保証書の提示がない場合。
尚、当社が修理した部分が再度故障した場合は、保証期間外であっても、修理した日より3ヶ月以内に限り無償修理いたします。
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

4. お客様が保証期間中に移転された場合でも、保証は引き続きお使いいただけます。最寄りのコルグ営業所、またはサービス・ステーションまでお問い合わせください。
5. 修理、運送費用が製品の価格より高くなることもありますので、あらかじめ最寄りのコルグ営業所、またはサービス・ステーションへご相談ください。運送にかかる往復の費用はお客様の負担とさせていただきます。
本製品の故障、または使用上生じたお客様の直接、間接の損傷につきましては、弊社はいっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。
本保証書は、保証規定により無料修理をお約束するためのもので、これよりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お願い

- 本保証書に販売年月日の記入がない場合は無効となります。
1. 保証書に販売年月日等の記入がない場合は無効となります。記入できないときは、お買い上げ年月日を証明できる領収書等と一緒に保管してください。
 2. 保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

コルグ AX1500G 保証書 (日本国内有効)

本保証書は上記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日から満1年の間に万一故障が発生した場合は、製品と共に本保証書を必ずご持参の上、修理を依頼してください。

おなまえ
おとこ

お買い上げ日 年 月 日

販売店名

アフターサービス

アフターサービスについてのご質問、ご相談は、お買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。

商品のお取り扱いに関するご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

お客様相談窓口 TEL 03(3799)9086

サービス・センター	〒143-0001	東京都大田区東海5-4-1 明正大井5号営業所コルグ物流センター内	TEL 03(3799)9085
名古屋営業所	〒466-0825	名古屋市昭和区八事本町100-51	TEL 052(832)1419
大阪営業所	〒531-0072	大阪市北区豊崎3-2-1 淀川5番館7F	TEL 06(6374)0691
福岡営業所	〒810-0012	福岡市中央区白金1-3-25 第2池田ビル1F	TEL 092(531)0166